

『ISO13611:2014 通訳 - コミュニティ通訳のためのガイドライン』認証授与のお知らせ —適正テスト・ロシア語、本年度より実施開始—

関係者様各位

大阪観光大学で、国際規格『ISO13611:2014 Interpreting - Guidelines for community interpreting (通訳—コミュニティ通訳のためのガイドライン)』に適合する通訳サービス提供者 (ISP) に認証授与を行うことになりました。

これは世界中の ISO 加盟国で通用するもので、国際的な人材登録制度を利用する場合はボーダーレスなグローバルコールにも対応できる人材であるとの証明となります。

本年度より、英語・中国語・ポルトガル語に加え、新たに「適正テスト・ロシア語」が京都外国語大学を実施機関として下記の要領で行われることになりました。

「適正テスト」は外国語運用能力の双方向性を確認するものです。学習外国語から母語へ、母語から学習外国語への翻訳・通訳する「双方向運用能力」をバランスよく身に付けることは重要と考えます。本テストは受検者の Contextual Sensitivity—「文脈を汲み取る感受性」を見える化し、2 言語についてのバランスを測定する内容です。

※受検問題の内容 SDGsに関わるもの+観光

SDGs とは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。SDGs は 2015 年 9 月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟 193 か国が 2016 年～2030 年の 15 年間で達成するために掲げた目標です。

『ISO13611:2014』の「4. コミュニティ通訳者の力量および資格」に記載されているコミュニティ通訳サービス提供者 (ISP) 資格要件、その他認証取得に必要な要件に適合すれば、大阪観光大学学長署名で『ISO13611:2014 通訳—コミュニティ通訳のためのガイドライン』認証書（期限 3 年間、継続には更新審査要）を発行いたします。

※『ISO13611:2014』認証取得には適正テスト 80%以上 (CEFR B2 相当) が必要です。

※本認証はプライベート認証となります。

主催:大阪観光大学 (<https://www.tourism.ac.jp/>)

共催(適正テスト・ロシア語 実施機関):京都外国語大学 (<https://www.kufs.ac.jp>)

【1】認証取得をご希望の方は、以下の調査書『ISO13611:2014 通訳ーコミュニティ通訳のためのガイドライン』認証取得希望調査 Ver.2』にご記入ください。

[ISO13611:2014 通訳 - コミュニティ通訳のためのガイドライン』認証取得希望調査 Ver.2](#)

【2】認証取得に必要な「適正テスト・ロシア語」は下記の要領で実施いたします。

■会場 京都外国語大学 Teams オンライン(申込受検者に URL を送付します)
京都外国語大学 〒615-8558 京都市右京区西院笠目町 6 (<https://www.kufs.ac.jp>)
[TEL] 075-777-6034(ロシア語学科共同研究室)

■日時 2022年7月31日(日) 13:30~15:00(90分)
テスト開始時間の30分前から Teams オンライン入場可

■受検料金 無料

■成績は各自個別に連絡します。

■受検希望者は

- 1) 上記『ISO13611:2014 通訳 - コミュニティ通訳のためのガイドライン』認証取得希望調査 Ver.2』に必要事項を記入・送信
- 2) 下記受検申込書「適正テスト受検申込書 (Contextual Sensitivity を「見える化」する適正テスト)」に記載されている『受検者のための「適正テスト」実施手順説明(最新)』欄を熟読し、必要事項及び適正テストの「インフォームド・コンセント(説明および同意)」に記入・送信
のうえ、受検してください。

[適正テスト受検申込書 \(Contextual Sensitivity を「見える化」する適正テスト\)](#)

受検申し込み後、京都外国語大学受検窓口担当者から受検申し込み受信通知と受検番号をお送りします。
また、当日までにオンライン招待状をお送りします。

◆コミュニティ通訳とは◆

『ISO13611:2014 Interpreting - Guidelines for community interpreting (通訳—コミュニティ通訳のためのガイドライン)』(以下『ISO13611:2014』と記載)の国際規格では「コミュニティ利用の目的で、コミュニケーションの場面において異なる言語の話者間で起こる双方向の通訳」と定義され、観光客や被災者への通訳行為も含まれると述べられています。

◆コミュニティ通訳の理念◆

「コミュニティ通訳」は、行政や教育等、生活のさまざまな場面での業務が必要となる通訳業務であり、「基本的人権へのアクセス」という理念がその基盤にあります。

◆コミュニティ通訳サービス提供者(ISP)をめざす方々へ◆

大阪観光大学は、コミュニティ通訳に関するガイドラインである『ISO13611:2014』の認証機関として、然るべき資格をお持ちの通訳者の方々に、公衆衛生、特に感染症対策の分野において国際的に活躍する機会を提供することを目的として、『ISO13611:2014』認証書を授与することになりました。

◆通訳養成のさまざまな試み◆

翻訳通訳教育をシステム化したプログラムとして実施している高等教育機関では、2021年度も続くコロナ禍において、遠隔通訳等、通訳業務のあらゆる可能性を探求する試みが見られます。大阪観光大学はコミュニティ通訳のガイドラインである『ISO13611:2014』国際規格の認証機関として、本学学長名で認証書を授与いたします。

◆適正テスト合格者の通訳者 (ISP) の方へ◆

適正テストを受検し、80%以上(CEFR B2 レベル相当)の成績を収めた方には別途、『ISO13611:2014』認証取得に必要な(電子化)書類をご提出いただきます。

【例】

- ・高等教育の学位をお持ちの方：過去2年間通訳実績記録書自己申告(裏書必要)および学位証明書
- ・別途送付し、記入済の「ISO13611:2014 遵守調書」

※提出いただいた個人情報、は、『ISO13611:2014』認証授与の目的のみに使用し、厳重に管理いたします。

■お問い合わせ：

<認証取得全般に関して>

『ISO13611:2014 Interpreting - Guidelines for community interpreting (通訳—コミュニティ通訳のためのガイドライン)』認証取得に関する窓口

大阪観光大学 国際交流学部教授・大阪大学 医療通訳養成コース 講師 佐藤 晶子 SATO Akiko <<a-sato@tourism.ac.jp>>

大阪観光大学 国際交流学部 [TEL] 072-453-8222 [FAX] 072-453-1451

<適正テスト・ロシア語 実施に関して>

京都外国語大学外国語学部ロシア語学科 <<russian@kufs.ac.jp>>

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6 [TEL] 075-777-6034 (ロシア語学科共同研究室)